

令和4年度 新作万燈・若衆頭 一挙紹介

氏子7町（銀座、司町、新栄町、寺横町、東陽町、広小路、広小路五組）の新作万燈と若衆頭を紹介します。新作万燈の見どころと若衆頭からの一言をご覧ください。

広小路
つげ 拓植 雄介



今年は、承平天慶の乱における平将門と藤原秀郷の戦いを題材にしました。手柄を挙げんと襲い掛かる秀郷を迎え撃つ将門の必死さや絶望感を表現できていると思えます。また、馬の筋肉を造形だけではなく黒一色ながら濃淡でも表現しています。ゆっくり細部まで見ていただけると「広小路のこだわり」を見つけることができます。

祭りができることに感謝の気持ちを
持って、広小路らしく最高にかっこ
いい祭りをします。

司町
かむかわ 振川 丈



辯慶が、主君源九郎義経を守るが為、自身を盾にして数多の矢を受けても倒れる事無く立往生し、命潰えた時に自身が鳳凰となり天に召され生涯を終える様を表現しました。

辯慶の出で立ちや、鳳凰が今まさに飛び立とうとする躍動感を色合いに注意しながら製作しました。

司町伝統の元氣と笑顔を繋ぐ奇祭
万燈祭

銀座
たちろうす 立白 一馬



本年新作万燈は、織田信長が開いた大相撲会に題材を求めました。常楽寺の大相撲会は特に盛大で、勝ち残った鯨江又一郎と青地与右衛門は、その後家臣として取り立てられました。この鯨江又一郎と青地与右衛門が諸肌脱いで相撲を試し、投げを打ち合う様を元絵にしました。相撲を題材とした珍しい万燈です。

コロナ禍で2年中止だったので、がんばって今年はやりたいと思います。

広小路五組
ふるはじ 古橋 一輝



「紅葉狩り」という名で能や歌舞伎でも演じられる物語の中から「平惟茂」が鬼女「紅葉」と戦う場面を題材にしました。身にまとった紅葉の美しさに反し、鬼女の顔をおどろおどろしく仕上げました。

今一度原点に立ち帰り、火難防除・町内安全を祈願し、万燈を担ぎ、舞う姿をご覧ください。

やつぱ万燈だよね わっしょい！

東陽町
こめな 小穴 義将



NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」にちなんで、「いざ鎌倉」を製作いたしました。

鎌倉時代、幕府に一大事があれば、いざ鎌倉に馳せ参じよう、との心意気を武士たちが抱いていたのが由来とされます。新田義貞をはじめとする3人の武士と3頭の馬で構成され、東陽町史上最大かつ最重量の迫力のある万燈をご覧ください。

見てくれる方に感動を、君のハートにレボ☆リューション！

寺横町
かわらど 川本 康平



コロナ禍という状況の中、万燈祭が実行できることを感謝します。万燈祭では若衆が主体になりますが、世話人さん、OBさん、町内が一体となり寺横町のきれいな万燈舞を披露させていただきます。

2日間、猛暑日が予想されますが、是非皆様もご覧になっていただければ幸いです。

若衆頭として初めて、そして久しぶりの万燈祭、緊張もしますがしっかりと楽しみたいと思います。

新栄町
こんどう 近藤 光平



白藤彦七郎は、後醍醐天皇に仕える新田義貞の家臣。朝廷軍対足利軍の兵庫合戦の折、劣勢ながらも鬼気迫る勢いで攻めてくる義貞。その気迫に押され、切羽詰まった足利尊氏は、乗ってきた馬の尻を切りつけ、義貞に向かって突進させた。本題材は、義貞に向ってきた馬を彦七郎が自身の剛力で担ぎ上げ、泥田へ投げ落とそうとしている場面を表現しています。

力強く万燈を担ぎ、舞う若衆の姿をご覧ください！